

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和5 年 1 月 30 日

公表: 令和 5年2月28日

事業所名 放課後等デイサービスすみれ-class

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100		コロナ禍ということもありお子さん同士のスペースは気を付けています 椅子の高さ、テーブルの高さがお子さんによっては合わない場合工夫しながら配慮しています
	2	職員の配置数は適切である	100		手厚く支援出来ていると思います
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100		2階の施設で階段を使用するので介助が必要なお子さんの場合は職員が付き添いながら移動しています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100		フローリング等きれいに清掃し受け入れしております
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100		職員全員共有し参画しております
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100		今回が初回となりますのでご意見等は把握し改善、維持していきたいと思います
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100		ホームページに公表予定
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		100	現段階では行っていないが今後導入していくことも検討したい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100		1年間の研修計画をもとに定期的に研修を行っています
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100		保護者様の要望を状況を見ながらお聞きし支援できるようにしております
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100		氷山シートの活用などお子さんの行動について表面下の分析をし対応しています
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100		設定しております
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100		計画に沿った支援を行っております
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100		行っております
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100		職員がチームでプログラムを組んで固定化しないようしております
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100		個別対応が主になっており今後集団活動を組み合わせたいと思っています
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100		毎日、行っており予定とお子さんの状況をみて臨機応変に対応できるようにしています
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100		毎回当日に行えております
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100		コロナ禍なので特に体温・手洗いの徹底を行い支援の内容について細かく記載・記録しております
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100		保護者様と定期的にモニタリングを行い見直しをし現状に合った支援を行っています
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100		管理者が参画しております
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	75	25	一部連携をさせていただいております
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	75	25	現在対象児はおりません

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	75	25	現在対象児はおりません
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	75	25	現在対象児はおりません
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	75	25	現在対象の方がおりませんが今後そのようなケースがあった際は対応したい
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75	25	併用されている方の事業所とは共有して助言を受けております
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	75	25	コロナ禍なので難しいのが現状ですが今後行っていききたいと思います
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	75	25	積極的に参加しております
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100		お迎え時にフィードバックを細かくさせていただいております
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	75	25	事業所のみでは現段階では行っていませんが今後研修にて行えるようにしていきたいと思います
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100		契約時に説明しています
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100		支援計画について保護者様にご確認いただき同意をいただき支援をさせていただいております
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100		日々、相談があった際には対応させていただいております
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	75	25	弊社別事業所と合同での開催をしております
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100		日々、相談があった際には対応させていただいております
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100		月に一度の通信を発行し活動内容を提示しております
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100		個人情報の使用には事前に保護者様の許可をとっております
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100		そのように努めています
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	75	25	コロナ禍のため実施はしていないが地域のセンターを利用するなど地域の中での活動も取り入れていきたいと思っております
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100		保護者様には契約時にご説明しております 避難訓練は毎月行っております
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100		毎月行っております
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100		アセスメントやヒヤリングシートで必ず記載させていただいて把握しております
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	50	50	アレルギーの有無については契約時に記入していただいている。 現在そのような事例はないが今度あれば対応していきます
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	75	25	虐待防止委員会の中で共有していくことになっています
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100		市の研修に管理者が参加し他施設との情報の交換を行っています
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100		やむなく身体拘束という名のことが発生した場合には態様・時間等記入することになっております

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。